<エントリーシート> ※事務局記入欄 No.： C－8	部門 校内研修　部門	学校名・氏名 鹿児島県姶良市立柁城小学校
	活動名　組織としての学力向上対策 ～思考力・表現力・判断力の育成をめざして～	

課題の設定：子どもたちが成人して社会で活躍する時代は，技術革新により社会構造や雇用環境の変化、ＡＩの活躍など予測が困難な時代となっていくと考えられる。子どもたちに，自分の意見を述べたり，考えを説明したりするなど自分の考えを適切に表現して相手に伝える力を身に付けさせたい。そして，予測困難な社会をたくましく生きていってほしい。そこで，子ども一人一人が習得した知識・技術を活用しながら，主体的に解決していけるような授業を展開する必要があると考えた。また，教員としての資質を高め子どもや保護者・地域住民の期待と信頼に応えるように，創造性あふれる研修活動を行っていくことにした。

方針・計画：

（１）全職員が協働した学力向上対策
（２）本校の教育課題である国語科を中心とした「思考力・判断力・表現力」を育成するための研究
（３）「授業力の向上」を図るための授業を通した実践的な研修

活動内容：

（１）全職員が協働した学力向上対策（図１）
　学力向上担当教員を中核とした推進体制を整備するとともに，組織的に総合的な取組を展開し，学力向上に関するＰＤＣＡサイクルを確立し教師の確かな指導力向上に努めた。全国学力・学習状況調査についての分析をきめ細やかに行い,授業改善を行い,６学年の系統性のある指導に全職員で行った。
（２）　国語科を中心とした「思考力・判断力・表現力」を育成するための研究（図２）
　「確かな読みをもとに，主体的に表現する力を育てる国語科指導法の研究～「読むこと」と「書くこと」を関連付けた指導を通して～」を研究主題として,新旧の学習指導要領を精読し,理論班・授業実践班・資料整備班において,理論の確立,授業改善,言葉あふれる環境整備について研究した。また，他者と自己の言葉による見方・考え方を知る交流活動を深める指導の在り方についても共通理解し，「思考力・判断力・表現力」の育成を目指して研究を深めることができた。
（３）「授業力の向上」を図るための授業を通した実践的な研修（図２）
　授業を通した実践的な研修を積み重ねる中で課題解決的な指導計画の作成や他者と自己の言葉による見方・考え方についての研究を深め,研究の成果について,県内の 90 名近い出席のもと研究公開を実施し,発表を行った。

活動の成果

○　学力向上に関するＰＤＣＡサイクルを確立することで,全職員の共通理解が図れ,実践へとつながった。
○　国語科指導法の研究を深めたことで,子どもたちの書く力や自分の考えを主体的に表現する力が向上した。
　そして，全国学力・状況調査では,書くことや記述式の正答率が全国平均を大幅に上回ることができた。
○　研究授業や諸学力検査結果の分析を通した研修が,教員個々の指導力向上につながった。

アピールポイント（アイディアや工夫）：

○　全国学力・学習状況調査等の学力向上に向けて，子どもたちの実態を分析し，全職員で対策を行った。
○　国語科では，「書くこと」と「読むこと」の関連という先行研究で主体的に表現する子どもの育成を図った。
○　６か年を見通した学習指導の充実，継続した研究授業，全職員の役割を明確にした校内研修及び学力向上対策を推進する取組の充実を図った。